

## 体外衝撃波治療とは

- ◆ 衝撃波を患部に照射する整形外科では新しい治療法です。ヨーロッパを中心に普及し、足底腱膜炎や腱付着部炎などの多くの疼痛性疾患の除痛を目的とした治療に応用されています。  
欧米ではスポーツ選手を中心に、低侵襲で安全かつ有効な治療法として使用されています。
- ◆ 衝撃波とは高出力の音波です。医療の領域では衝撃波は 1980 年代から腎結石を破碎する際に使用されました。現代の疼痛治療においては、結石破碎装置の約 10 分の 1 の出力が使用されています。  
衝撃波は痛みの部位に照射され、そこに治療効果を生じさせます。



## 対象となる疾患

- ◆ 日本国内では**難治性足底腱膜炎**に対し、**保険が適用**されています。
- ◆ 国際衝撃波治療学会（ISMST）では、下記の疾患において使用されていますが、

以下の疾患に対しては**日本では保険適用ではありませんので**

**自由診療(自費負担)**となります。

【足部】 足底腱膜炎、アキレス腱炎、アキレス腱付着部炎

【膝】 膝蓋腱炎

【肘】 上腕骨外側上顆炎、上腕骨内側上顆炎

【肩】 石灰沈着性腱板炎、腱板炎

【骨折】 偽関節、疲労骨折

【その他】 早期の離断性骨軟骨炎、早期の骨壊死

## 治療の特徴

- ◆ 1 回の治療時間は約 10～15 分です。
- ◆ 麻酔は基本的に不要です。
- ◆ 傷跡は残りません。
- ◆ 治療後には治療前と同様にすぐに歩行可能です。

## 治療の流れ

1. セッティング（照射部位により体位が異なります。）
2. 圧痛点、または超音波エコーで照射部位を特定します。
3. 低レベルの照射から開始し、反応を見ながら徐々に出力を上げます。
4. 目的とするショット数に達したら終了します。
5. 1週間に1回照射し、それを3回照射します(つまり、3週連続で照射します)。



## 注意点

- ◆ 治療中は痛みを伴います。我慢できる範囲で出力を上げていきます。低レベルの照射に耐えられない方は途中で治療を中断する場合があります。
- ◆ 一般的に2~3回の繰り返し治療で治療効果が確認されています。
- ◆ 体外衝撃波による治療は、完全なる除痛を保証するものではありません。また治療効果や治療期間が異なります。平均的治療効果は60~80%と報告されています。

## 有害事象

- ◆ 腫脹、発赤、血腫
- ◆ 点状出血
- ◆ 疼痛 等が考えられます。

## 自由診療(自費負担)の費用について

1回目 20000円(税別)、2回目以降 10000円(税別)

## あなたの費用負担について

- ◆ 難治性足底腱膜炎のみ保険診療となりますが、それ以外の疾患に関しては自由診療(自費負担)となります。

【実施日】 毎週月曜日 AM10時～PM12時

【担当医】 整形外科 高築義仁

予約のお申込みはお電話にてお受けいたします。

「整形外科 体外衝撃波外来受診」とお伝えください。

Webでの申し込みも可能です。

原則として初診にて受診される場合は、他の医療機関からの紹介状が必要となります。

予約受付時間：平日 9:00～16:30

土曜9:00～12:30

初診予約電話番号：03-5647-8288

〒123-8558 東京都足立区江北4-33-1  
東京女子医科大学附属足立医療センター  
TEL（代表）：03-3857-0111